



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2014-2015 年度 No.43

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

F A X 0763-55-6147、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2014-2015 年度 会長 坂井彦就、幹事 岩崎 修

2014-2015 年度 RI テーマ



Light Up Rotary

「ロータリーに輝きを」

(ゲイリーC.K.ホアン会長)

例 会 記 録

第 1 7 6 8 回例会

平成 27 年 5 月 20 日(水)PM0 : 30

よいとこ井波

1. 点 鐘
2. ソング：我等の生業



3. ゲスト：①富山第三分区ガバナー補佐 北村憲三氏：

「今回で 5 回目の訪問となりますが、今日は貴クラブの進捗状況をお聞きするために訪問しました。今年のテーマの「ふるさとを育み世界平和」と言うことで、ロータリーデーを設けていただきたいと思いますので先程、坂井会長さんにお聞きしましたら非常に成果があって良かったということでしたので、そのように報告したいと思っています。もう 1 点は、I M の時に沢山参加していただいたお陰で、最終集計は終わっていませんが、各クラブに CD と報告書を 3 冊お贈りすることになっております。会計が上手であ

りましたお陰で少し残金がありました。どうするか検討の結果、出席者の人数で 1 人当たり 1, 1 0 0 円をお返しするということになっていますので、後日お届けしたいと思っています。以上の 2 点を報告申し上げます。」

- ②卓話ゲスト 道元昭隆氏(圓光寺住職)



4. 会長の時間：今日は圓光寺の住職の道元さんよろしくをお願いします。私の会長の挨拶ももう少しで終わることになります。非常に寂しいなと思っております。何年か後にはまた会長をしてもいいかなという心境でございます。新聞にも載っていたと思いますが、庄川泉源株式会社で、足湯を作ったという記事です。生涯学習センターの裏に泉源会社がありまして、現在私が社長をしています。そこに金屋石を使った足湯を作り、お湯の出口がダムの形になっており、合口ダムと小牧ダムのイメージで作ったものですが、26 日が正式に

オープンとなります。宮窪君が一生懸命にやっています。金屋石を使っていますのでお風呂にはすごくいい素材であります。庄川にまた一つそのような場所ができましたのでご紹介しておきます。それから温泉に因んで温泉科学会という団体がありまして、この学会を3年程前から誘致活動をしていましたが、来年の9月14、15、16日に庄川温泉郷で開催が決定しました。大体は石川県なら金沢市、富山県なら富山市に大きな学会が来るので、なかなか地方に回ってこない現状があります。我々はそのような大きなものは狙わずに小さい学会に的を絞って誘致活動を行っていました。温泉科学会にしても会員数が300名くらいであり、全員が参加することも無いので十分に庄川でやるキャパであります。早急に実行委員会を立ち上げて最高のおもてなしが出来るように準備を進めたいと思っています。温泉科学会には非常に影響力のある方が来られますので、庄川の良さが口コミで広がればと期待しております。他にもう一つ温泉地域学会というのがあります。どちらかと言うと文系の学会ですが、この学会にもいずれいつかは来ていただきたいと思っています。



5. 幹事報告(岩崎幹事)：①5月27日(水)5RC親睦ゴルフ。当クラブがホスト。受付は8時に準備。集合は8時半。参加者を出迎えて下さい。当日は、9:31スタート。29名が参加予定です。スタート後は選手以外は一時解散、懇親会が4時ころ予定、また、お集まりください。②近隣クラブの例会の変更については、事務局に確認の事。
6. 出席報告：本日20名中18名出席、1名がメイキャップあり、修正後95%の出席率です。

7. 委員会報告：①親睦活動委員会(山本英介委員長)：観桜会の会計が上がりました。会員は10000円、家族は8000円を口座より振替致します。②地区研修・協議会(中島次期幹事)：5月24日(日)。10名参加予定で、乗り合わせで行きます。12時受付開始、13時全体会。15:30分科会、17:30閉会点鐘の予定です。③社会奉仕委員会(中島委員長)：6月7日(日)「クリーン大作戦」は、7時開始ですので、6時半までに庄川庁舎前にお集まりください。④会員拡大増強委員会(河合委員長)：本日は会員増強に関して、お約束の夕菅〈夕方、一時だけ花を咲かせます〉を持参しました。会員加入に功労のあった三角会員(長田会員入会)と坂井会長〈宮窪会員入会〉とそれぞれの新入会員にお渡しします。【斎藤彰会員(斎藤美華子会員入会)については、両名出席の際に渡す予定】



8. ニコニコBOX(SAA：本日7名)

- 北村ガバナー補佐：5回目の訪問となりました。残り、坂井会長と奉仕に努めて下さい。
- 坂井会長：道元様、北村ガバナー補佐、ようこそお越し頂きました。有難うございます。本日所用で早退致します。申し訳ありません。
- 斎藤会員：先週の日展、行けなかった人残念でしたね！豊介先生の話、実に面白かったですよ。有難うございました。
- 小西会員：左耳が高度の難聴となった為、先週MRI検査を受けたのですが、脳内には異常が見つかりません。しばらく右耳側の方のお話しか聞けませんのでせ記事には気を使います。宜しく。
- 中島会員：ゲストの北村ガバナー補佐様、道元様、ようこそいらっしゃいました。午後から出張のため、早退失礼します。

長田会員：道元さん、卓話有難うございます。先週欠席すいませんでした。

山本武夫 SAA：北村ガバナー補佐様、5回目の訪問有難うございます。道元さん、本日はゲストで卓話よろしくお願い致します。先週末、末娘の大学での剣道の大会を初めて応援してきました。1回戦は勝ったものの、2回戦で敗れ、関東女子のレベルの高さを痛感してきました。



本日の植物：サクランボ 〈河合会員提供〉

・・・実を各自、採って頂きました

卓話「ご縁について」 道元昭隆氏(圓光寺住職)



三角会員(紹介者)：道元住職とは、平成元年から3年まで、上平中に勤務しておられた時に、実家の兄を通して、懇意にさせて頂きました。今回は、初めてロータリーにお越し頂きました。宜しくお願いします。



道元氏：人はいろんなところに縁があります。自分は、たまたま文化方面で、平成元年より「日本ペンクラブ」に所属しています。この組織は、現在が浅田次郎氏が会長で、副会長の1人に、中西進先生(高志の国文学館館長)がついておられます。私も縁あって、前に詩やエッセイなどまとめて、1冊本を出しましたが、今度2冊目を出す予定です。本日は、「ご縁について」お話をさせて頂きます。この世はどこかで繋がっています。伝承(言い伝え)が確証(実際にある)に変わる時、ホントに不思議な世界だと感じます。例えば、私の祖父と父は同じ20日が命日です。こうしてロータリークラブに寄せてもらい、ご縁をみると、私の寺の

額絵の天女さまは、裏書きを見ると今ここにいらっしゃる横山豊介先生のおじい様の作品でした。また、書院の「孔雀と牡丹」は幹さんのお父様の先代一夢先生の作品です。山本武夫さんは私の先輩ですが、母同士が教員仲間でした。お母さんが亡くなられた時に、私と母と一緒に参らせてもらいました。小西さんにも昔からいろいろお世話になっております。岩崎さんは御家族で同級生の方がおられたり、浅田さんは、母のたつての希望で風呂をなおしてもらいました。今、私の寺の鐘楼堂を修理しようと屋根をめくったら、書いてあった昭和12年の大工さんの名前が、今建築を担当している宮大工さんのお祖父さんであり、びっくりされたとか、修理のための実行委員会を立ち上げたら、メンバーが井波中の同級生が集まっていて、感動したりされました。そこで、『歎異抄』第6章にある『つくべき縁あればともない、はなるべき縁あればはなるる』：一緒になるべき縁があればともに歩み、離れるべき縁であれば別の道を歩む、という教えを思い出します。親鸞様は、「人生はなるようにしかならない」「自然(じねん)のことわりにしたが、あるがままに」生きなさいと説いておられます。全ての物事は、縁によって成り立ち、縁によって変化していきます。仏教においてこれは永遠不変の真理です。(出会いや別れ、生や死も、人の心変わり、売買でさえも。)

私は、父が69歳で亡くなり、20年ほど住職を務めています。その20年ほどの間にいろんな人の死を見つめてまいりました。人は生きている時は、死の事を考えません。しかし、いつ何時、お迎えが来るやもしれません。老少不定、年寄りが先に、若い人が後にという決まりはありません。そんな時、我々は先祖のご縁で生かされていることを気付きます。親鸞様の「教行信証」総序に、『たまたま行信(ぎょうしん)を獲ば、遠く宿縁(しゆくえん)を慶べ』の教えがあります。『思いがけず真実の行と信心を得ることができたら、遠い過去の縁に心から感謝しよう』と説かれています。「出会いも成功も、多くの縁から生じる」「良い出来事があれば、過去の縁に感謝しよう」と言われています。仏の世界では、現世、来世、過去世とあり、現代人はこれからどうなるという来世ばかり気にしていて、過去世の事を軽んじています。現世があるのは根底に先祖のお陰があるからで、過去に感謝しなけ

ればならないのです。

今、北陸新幹線が開業し、かがやきが支新高岡駅に止まる様に働きかけをしています。私のお寺は本願寺派(お西)で、私は現在高岡教区(305か寺)で推進委員をしています。どうしたら、お寺に参る人を一人でも多くするにはどうしたらいいのでしょうか。昔加越線が走っていて、今も走っていたら、瑞泉寺はどうだったでしょうか。昔は瑞泉寺にもたくさんお参りがあったようです。私はお西ですから、あまり詳しい事は分かりません。でも、そこには、「心」の在り方が問われていると思います。また、念仏を唱える人が少なくなった、どうしてでしょう。昔はそうではなかったはずです。お通夜や葬儀で、昔は声が聞こえてきたが、今は声が出なくなってます。「称名念仏」声を出してお念仏を申す、こういうことになるよう、ご縁を作って頂きたいものです。